

一般社団法人 社会福祉経営全国会議

コロナ・実態・事例ニュース



2022年2月14日発行 (No.20) 連絡先/〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

電話 06-6772-1360 Fax06-6772-1376 Eメール/jimukyoku1@f-zenkoku.net

第6波コロナ感染爆発！

お寄せいただいた声を
ご紹介します！

今、福祉の現場で何が起きているのか！

①市は陽性者がでた場合の臨時休園措置を14日から10日、そして今は7日間に短縮しました。それでも他の自治体に比べれば慎重な対応であり、保健センター機能がパンクする中、保育運営課が対応してくれるだけ、責任ある姿勢を感じとれるのが救いです。

ただ、休園が短くなったせいか、再開して数日のうちにまた休園という園が増えています。自園は、数えきれないヒヤヒヤ連絡があるものの、まだ陽性者を出さずにすんでいます。レトロな園舎で木枠の窓なので、常にすきま風が通る寒くてたまらない過酷な環境が、コロナのエアロゾル感染防止にはとても有効なのだねと苦笑いです。保護者が園との約束ごとをしっかりと守って支えてくれていることも大きな要因。父母、職員みんなで協力しあっていることを実感しています。が、いつ誰が罹ってもおかしくない状況で常に覚悟と準備はしています。

とても困っているのは、あまりにも市内の休園が多くて、子育て中の職員がみごとに全員出勤できないという異常な事態が生じていることです。ここまで重なるのは初めてです。自分の園以外がすべて閉まっているのではと思うほどです。その上、学級・学年閉鎖、家族が陽性や濃厚接触、そして年末からずっと胃腸風邪が流行。職員や職員の子供もが順に罹患。今日は何人で保育をするのかと必死の日々が続いています。保護者への登園自粛依頼も、家庭に負担がかかりすぎないように無理はしないでと呼びかけていますが、さすがに「休みの協力」をお願いせざるを得ない状況です。

②正規職員、臨時職員を人件費危険水域まで使って赤字覚悟で増員し確保しているので、出勤できない職員が1日に数人いる事態にもなんとかやりくりしていますが、緊急時でなくても、保育にも給食室にも余裕のある人員配置ができるよう、国には公定価格の見直し、まず算定方法の見直しだけでもすぐやってほしいと思います。保育士になりたい人を増やすためにも、処遇は早急に全産業平均並みに大幅改善してほしいです。臨時だの特例だのと条件付き期限付きで僅かな見せかけの改善ではなく、全体の底上げを強く要望したい。保育士だけでなく、ケア労働者全体の改善を公的責任で行うべきだと思います。

ホントに！いつまで我慢をさせるのか！と怒りがおさまりません。

(愛知 保育)

●第6波コロナ感染爆発！今、福祉の現場で何が起きているのか！状況をお知らせください！

書き込みフォーム

<https://forms.gle/MrdLH9bB1RHiAHUR9>

フォームでは、2点聞いています。

①コロナ感染拡大で、現在、直面している状況・課題・問題点など。

②上記の問題を是正するために必要と思われる国や自治体への要望。



①1. 兄弟児、家族の発熱風邪症状や感染状況の把握のための連絡に人手時間がとられる

2. 休日も緊急連絡があるため、休日対応は園長が行っておりゆっくり休めない。3. 換気を充実させるための財源がない。コロナ補助金が備品にしか利用できないが、空気清浄機だけでなく換気設備の充実も認めてほしい。

4. 感染力が強く、予防が本当に難しい。行政から保護者に対して強めの家庭保育の協力を要請して欲しい。

②消耗品や備品は補助金を上回って支出している。また、消毒や清掃の人権費も合わせるとさらに支出が上回る。コロナ対策についてはさらに補助金をお願いしたい。

(京都 保育)

濃厚接触者のカウントもふくめ、休園するかどうかも保育園で決めてくださいという丸投げ状態。

酷すぎです。(広島 保育)